

NPO 横断型基幹科学技術研究団体連合
2015 年度 第 6 回理事会 議事録抄録

日時：2016 年 2 月 29 日（月）15：00 ～ 17：40

場所：日本大学経済学部本館 2F 中会議室

出席者（敬称略、順不同）

理事：出口光一郎、遠藤 薫、船橋 誠壽、青柳 秀紀、岩崎 学、松岡 猛、山崎 憲、六川 修一、
大場 允晶、鈴木 久敏、藤本 英雄、松岡 由幸、三藤 利雄（13 名）
評議提出理事：平原 裕行、水野 毅、木全 晃、杉本 謙二、藤井 亨（5 名）
監事：木村 忠正
事務局：並木 正美、津田 美子

議事：

- I. 理事会成立の確認：理事総数 23 名中、出席者 18 名（内出席 13 名、評議提出 5 名）
- II. 議事録署名人の指名
- III. 前回（2015 年度第 5 回）議事録案および抄録案の承認
- IV. 2015 年度第 5 回運営会議議事録案の参照

V. 審議事項・報告事項等

A 審議事項

A-1 第 6 回横幹連合コンファレンス結果報告

・実行委員長から、参加者数および決算報告があり、これを承認した。講演論文集は NII または J-STAGE で公開予定。

A-2 第 7 回横幹連合コンファレンス(仮称)準備状況について

・企画・事業委員長から、横幹連合コンファレンスを横幹連合の年次大会として、毎年開催へ移行したいという提案があり、これを承認した。総合シンポジウムの開催形態については、今後、検討していくこととした。

A-3 第 4 回横幹会議について

・担当理事から、第 4 回横幹会議の準備状況が報告され、これを了承した。

A-4 横幹連合コトづくり至宝認定事業に関するアンケート

・担当理事から、各学会からの回答状況が報告され、これを了承した。
・「コトづくり」の意義、他の認証との違い、「コトづくり至宝」の用語定義について明確化することを確認した。

A-5 第 5 期科学技術基本計画推進への取組みに関するアンケート

・企画・事業委員長から、各学会からの回答状況が報告された。企画・事業委員会でさらに議論し横幹連合としての仕組みの提案を行うとの報告があり、これを了承した。

A-6 2016 年度新役員候補について

・次期役員候補推薦委員会委員長から、2016 年度新任役員候補者、その推薦書、過去の就任状況について説明があり、検討の結果、これを承認した。

A-7 2015 年度木村賞表彰について

・木村賞審査委員会委員長から、審査経過、評価方法についての説明があり、本年度は京都大学の佐藤 彰洋氏に贈呈することが提案され、検討の結果、承認した。

A-8 2015 年度決算見込みおよび 2016 年度予算案

・事務局から、2015 年度決算見込みが報告され、これを承認した。最終決算は臨時理事会にてこれを承認することとした。

・2016 年度予算案についての説明があり、これを承認した。

A-9 2016 年度定時総会プログラム案

・担当理事から、2016 年度定時総会プログラム案についての説明があり、検討の結果、承認した。

A-10 2015 年度活動報告および 2016 年度活動計画について

・各常置委員会委員長から、提出された 2015 年度活動報告および 2016 年度活動計画について説明があ

り、漏れや加筆すべき事項を確認、これを踏まえて改訂を行うこととし、承認した。

A-1 1 会誌投稿規程改正について

- ・会誌編集委員会委員長から、会誌の電子化に伴い、別刷料の改定を主とした投稿規程の改正案が提出され、これを承認した。

A-1 2 ニュースレターの内容の変更等について

- ・広報・出版委員会委員長から、会誌の電子化に伴ったニュースレターの在り方の検討内容についての説明があり、これを了承した。

A-1 3 IFAC サポートレターについて

- ・会長から、2023年にIFAC(国際自動制御連盟)世界大会を日本に誘致するにあたっての、横幹連合への支援依頼があったことが説明があり、横幹連合として支援することを承認した。

B 報告事項

- ・各常置委員会から、検討事項等の報告があった。

以上